310PRESS vol.26 2017年3月

【発行】衆議院議員 柿沢未途 〒135-0047 江東区富岡1-26-18-6F TEL.03-5620-3104 FAX.03-5620-3105
WebSite 310kakizawa.jp Twitter @310kakizawa

「原発ゼロと自然エネルギー立国」へ

衆議院議員 柿沢未途

柿沢未途（かきざわ・みと）/衆議院議員
- ■1971年生まれ。江東区立数矢小、麻布中・高、東大法卒
- ■NHK記者として長野五輪報道に携わる。都議２期
- ■2012年、2014年の解散総選挙で東京15区（江東区）で２期目、３期目の小選挙区連続当選
- ■2009年からの1期目では、260回以上の国会質問でナンバーワン
- ■NPO万年野党「国会議員3つ星ランキング」で、質問回数、質問力、総合のトリプル★★★3つ星議員として計4回の表彰を受ける
- ■「文藝春秋」2016年新春号にて、有職者の選ぶ「日本を元気にする逸材125人」に選ばれる

蓮舫代表の裏方となる党役員室長として、党のエネルギー政策のバージョンアップを目指してきました。3.11を経験した日本は、その反省と教訓を活かして、未来の国家像を描いていかなければなりません。

６年が経過しましたが、今もなお、原発事故で故郷を離れた福島の被災者の皆さんの多くは戻れないままとなっています。東京電力福島第一原発事故の廃炉、除染、賠償費用は当初の見積りの２倍の21.5兆円という天文学的数字になり、電気料金への上乗せで費用を捻出しようとしています。東芝が海外原発事業の失敗で7000億円以上の巨額損失を出し、経営危機に陥っているのを見ても、今や原発は安価でも安全でもなくなっています。

一方、省エネは、2012年に立てた目標を大幅に前倒しで達成し、2030年段階で到達すべき11％の節電が見込みより15年も早く、既に2015年度に実現しています。ドイツを見習って住宅の断熱性能の向上等を進めていけば、省エネ目標の深掘りはまだまだ可能です。

そして、自然エネルギーも広がりつつあります。岡山県真庭市では、地元の山からの材木で製材を行なっています。　そして、木造ビルを建てられる新建材として欧米で注目されるＣＬＴ（直交集成材）を生産しています。そこから生まれた不要な木片を燃料として燃やし、木質バイオマス発電の売電収入で年間23億円を稼ぎ出します。以前は産廃として有償で引き取ってもらっていた木くずを使って、山間地の地方がこれだけ豊かになっているのです。日本の自然エネルギーは太陽光にかたよる傾向がありますが、山紫水明の日本の風土を活かせば可能性は無限大です。

2010年からのわずか５年間で、省エネと再エネの増加分は1582億kWh、おおよそ原発27基分にあたります。もはや「原発ゼロ」は実現可能な目標となりました。そして「自然エネルギー立国」の日本を目指す事で、一極集中の大都会より、自然に恵まれた地方が豊かになるのです。

ドイツは2022年の原発廃止を決め、エネルギー消費の50％削減や自然エネルギーへのシフトを強力に進めています。3.11を経験した日本にできないはずがありません。原発再稼働まっしぐら、原発依存へ逆戻りの今の政治ではなく、私達は「次の日本」を目指して、「原発ゼロ基本法案（仮称）」の国会提出に向けた議論を党として進めていきます。

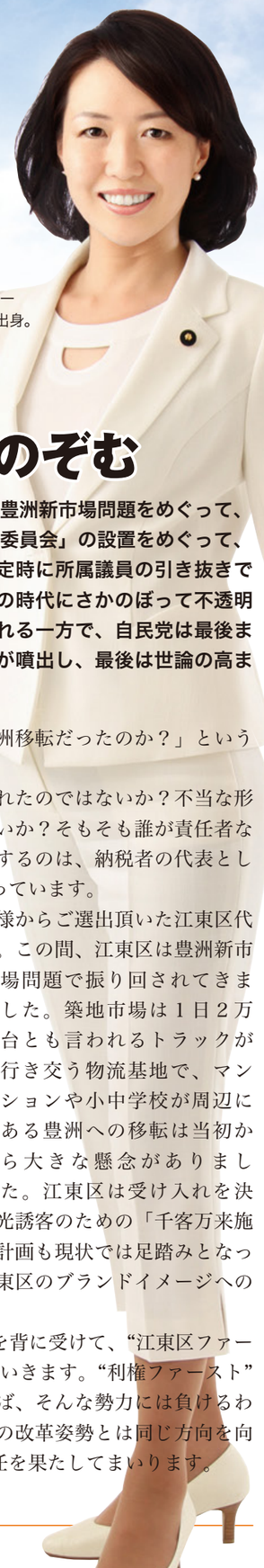
岡山県真庭市。
木材業と木バイオマス発電のダブルインカムで地域が豊かに。

都議会リポート Report

2017年 春号

【発行元】東京改革都議団 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL.03-5320-7292 FAX.03-5388-1832 E-mail info@nogamiyukie.com

野上ゆきえ 東京都議会議員



【野上ゆきえプロフィール】３期／都議会・総務委員会／江東区富岡／立教女学院中・高、東京文化学園ビジネスアカデミー
早稲田大学政経学部経済学科卒（社会人から転身、26歳で大学入学）中高等・社会科公民科教育免許取得。松下政経塾出身。

いよいよ豊洲新市場問題が論戦の舞台へ

「江東区ファースト」で都議会にのぞむ

豊洲新市場

都議会第１回定例会が開会中です。開会前から、豊洲新市場問題をめぐって、強い調査権限や証人喚問の権限を有する「百条委員会」の設置をめぐって、党派間の激しい駆け引きが展開されました。移転決定時に所属議員の引き抜きで苦い思いを味わった旧民主党系を中心に「石原都政の時代にさかのぼって不透明な経過を明らかにすべき」という設置賛成論が出される一方で、自民党は最後まで消極的な姿勢でした。しかし、内部からも賛成論が噴出し、最後は世論の高まりに折れた格好となりました。

一方、「環境基準79倍のベンゼン」「猛毒のシアン化合物を検出」と大きく報じられた地下水調査の９回目のモニタリング結果について、調査手法への疑問も示されています。混迷を深める豊洲新市場問題ですが、「そもそもなぜ移転先が豊洲の東京ガス跡地だったのか」という意思決定をめぐっても、石原元都知事、浜渦元副知事はじめ、証人喚問を重ねながら、真相解明に向けて、取り組んでいきたいと思います。

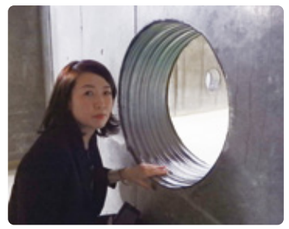
同時に私が問題視しているのは、豊洲新市場の建設工事や土壌汚染対策につぎ込まれた巨額の事業費です。

豊洲新市場の整備費は当初の予定から膨らんで、何と約6000億円という額になってしまいました。うち、土壌汚染対策費は約860億円と当初の1.5倍に高騰しましたが、やると言っていた盛り土は行なわれず、そして、都民と消費者の安全性の懸念は払拭できていません。世界最高の難工事と言われた東京スカイツリー（建設費約400億円）を２本建てるような巨費を投じて今の有様では、その負担を背負わされる人達はたまったものではありません。

市場施設の建設工事には約2750億円が投じられましたが、この巨大公共事業の発注と受注にあたっても、わざわざ工事が３つの工区に分割発注され、日本を代表するゼネコン３社が仲良く分け合うように受注しています。しかも予定価格に対する落札率はのきなみ99.9％。これだけの高い落札率では、事前にゼネコン間の受注調整があったと見なされるのが普通です。しかもこれらのゼネコンに都庁幹部ＯＢがのきなみ天下り再就職しています。こうなると、「一体、誰の利益のための豊洲移転だったのか？」という疑問すら出てきます。

誰かの関与で施策が歪められたのではないか？不当な形で事業費が膨張したのではないか？そもそも誰が責任者なのか？こうした疑問点を追及するのは、納税者の代表として私の当然の責務であると思っています。

一方で、私は江東区民の皆様からご選出頂いた江東区代表の都議の１人でもあります。この間、江東区は豊洲新市場問題で振り回されてきました。築地市場は１日２万台とも言われるトラックが行き交う物流基地で、マンションや小中学校が周辺にある豊洲への移転は当初から大きな懸念がありました。江東区は受け入れを決めましたが、世界中からの観光誘客のための「千客万来施設」を併設でオープンさせる計画も現状では足踏みとなっており、土壌汚染問題での江東区のブランドイメージへの影響も懸念されています。



豊洲新市場視察時の野上都議

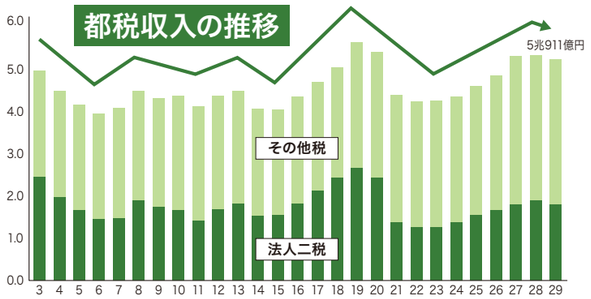
江東区民の皆様の懸念の声を背に受けて、“江東区ファースト”で都議会の議論に臨んでいきます。“利権ファースト”の議員が都議会にいるとすれば、そんな勢力には負けるわけにはいきません。小池都政の改革姿勢とは同じ方向を向いて、江東区の未来を守る責任を果たしてまいります。

都民の暮らしを底上げし、生活満足度が高い東京の実現を！

1 平成29年度東京都一般会計予算案が発表されています

～小池百合子知事が初めて策定した本格予算案です～

小池知事に予算要望を提出する野上ゆきえ都議ら



2 子どもが一番！ 笑顔が輝くまち東京！

要望 保育と子育て支援策の拡充を。

【その結果】多様な主体による保育所緊急整備（34億円）、保育士キャリアアップ補助（244億円）、保育従事職員宿舎借り上げ支援（39億円）、学童クラブ補助（54億円）

【何が期待できる?】2019年度末までに保育サービス利用児童数を7万人分確保し、待機児童を解消します。保育人材を確保・定着させるため、都独自に21,000円の賃金改善を行います。3,417人いる都内学童クラブにおける待機児童の解消が進みます。

要望 子どもの貧困対策・格差解消を。

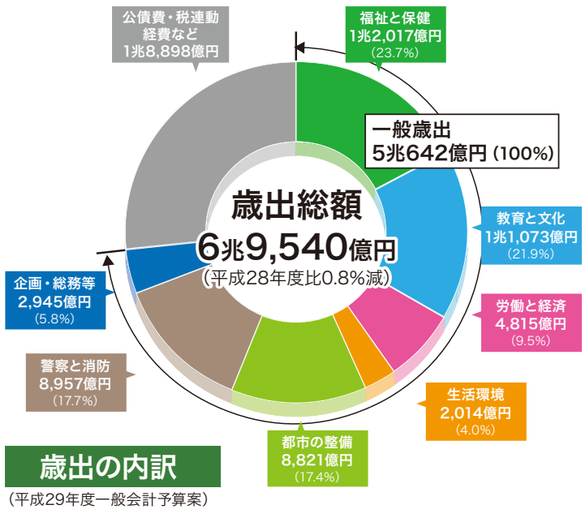
【その結果】都立高生給付型奨学金創設（17億円）、私立高特別奨学金等の拡充（138億円）、子供の居場所・貧困対策支援事業（2億円）、児童相談所費（25億円）

【何が期待できる?】3万5千人の都立高校生への給付型奨学金を創設するとともに、**私立高生の経済的負担を軽減し、全ての子どもの学びを支援します**。要支援家庭の子どもたちを必要な支援につなげます。児童虐待防止を進め、子どもたちの自立支援を図ります。

子育て・福祉に重点配分！

私たち会派の要望で更に前進

一般会計の予算規模は、前年度比0.8％減の６兆9,540億円。５年ぶりの減です。海外経済の減速などの影響で企業収益が減少し、都税収入は、５兆911億円、2.3％のマイナスとなりました。目的別の内訳では「福祉と保健」が前年度比3.0％増の１兆2,017億円、「教育と文化」は1.0％増の１兆1,073億円、「労働と経済」は4,815億円で1.5％減となっています。**私たちは、都政改革を進め、子どもの貧困・教育格差の是正、働き方改革などを実現する予算を求めています。**



歳出の内訳
（平成29年度一般会計予算案）

3 みんなにやさしいまち東京！

要望 高齢者施策と健康づくりの推進を。

【その結果】地域包括ケア、介護予防など高齢福祉費（378億円）、特別養護老人ホームなど整備助成費（341億円）

【何が期待できる?】地域における医療・福祉の連携を構築することで、認知症の人が安心して生活することができます。**要介護認定に至らない高齢者が増えます**。都内全域で特別養護老人ホーム６万人分や認知症高齢者グループホーム２万人分等の整備が進みます。

4 政策実現！

～都議報酬カット条例が成立～

これまでもレポートでお伝えしてまいりました通り、野上ゆきえ都議は、都議会でも数少ない、常識を超えた議員特権の返上を行なってきた議員の１人です。議会出席のたびにもらえる交通費相当の日当である「費用弁償（１日１万円）」を受け取らず、多くの議員が当然のように使っている黒塗り公用車も使用してきませんでした。また、ポケットマネーのような使われ方が全国で問題となっている「政務活動費（都議は１人につき月60万円）」についても、その減額を主張してきました。

小池都政となり、小池都知事自らが知事給与の50％カットを断行し、「ならば都議会は？」という厳しい視線が注がれるようになりました。これを好機として、私達がかねてから主張してきた**「都議報酬カット（２割）」、「政務活動費の減額（10万円）」**そして**「収支報告書と領収書のインターネット公開」**、「費用弁償の原則廃止」が第一回定例会の冒頭で条例提案され、成立を見ることとなりました。こうした成果はどの党派も誇らしげに語るのが常ですが、実現する前から率先して有言実行してきた私たちとしても、胸を張りたいものだと思っています。

新会派結成!『東京改革議員団』

▶2月14日、新会派結成の届出を出しました。野上ゆきえ都議は、会派：総務会長として、予算特別委員会副委員長に就任致しました。都議会生活者ネットワークや無所属の都議会議員の皆さんにもお声かけをして大同団結を目指し、都議会に臨んでいます。豊洲市場問題によって、都政の信用は失墜しています。都民の回復をさせるには、改革のスピードと真相究明の力が必要です。改革を阻む勢力と対峙するため、小異を捨て議会改革を行うことや、豊洲市場移転問題など改革の旗幟を鮮明にしていきたい。それが私たちの使命です。

5 都議会見学会を開催！都政報告会も！皆さんもお越しください！

江東区の知人の皆さんが都議会の見学会を企画され、私を訪ねてきてくださいました。何しろこのところ連日、テレビのニュースでも報道されていますから、本会議場や予算特別委員会の部屋を見学して頂き、皆さんも興味津々のご様子でした。「百条委員会」はじめ、都議会の論戦はこれからが本番。開会している日には議会の傍聴もできますので、ぜひお気軽に野上ゆきえ事務所にお電話ください。

また、都政報告の座談会も開いております。江東区内の集会所やご自宅にうかがい、「小池都知事で都政はどうなるの？」といったご質問に答えます。こちらもお気軽にお声がけください。

◎あなたの声をおきかせ下さい

連絡先 野上ゆきえ事務所
〒135-0047 江東区富岡1-26-18 田﨑ビル6階
TEL.03-5875-8686 FAX.03-5875-8606
E-mail info@nogamiyukie.com
http://www.nogamiyukie.com 野上ゆきえ 検索